

協同組合振興研究議員連盟総会に際して

協同組合振興研究議員連盟におかれましては、労働者協同組合法の制定に向けてご尽力いただいていることに、日本労働者協同組合（ワーカーズユープ）連合会を代表して、深く感謝申し上げます。

本日提示されている法案の作成においては、協同組合振興研究議員連盟と与党ワーキングチームが連携し、私たち当事者を交えた丁寧な議論を進めていただきました。検討にあたっては、私どもの現場も直接視察いただき、議論に反映していただきました。あらためて感謝申し上げます。また、ご尽力いただいた様々な関係機関のみなさまにも、心より御礼申し上げます。私たちは、現場での実践を基礎に、法律早期制定を求める地方議会での意見書採択に粘り強く取り組んで参りました。採択いただいた930の自治体のみなさまにも御礼申し上げます。

今回まとめられた労働者協同組合法案について、こうした経緯から私たちが望む法律の内容が網羅され、強く賛同する立場から、一言意見を述べさせていただきます。

私たちは、世界中に「労働者協同組合」という組織形態があることを知り、1986年から35年かけて、ゼロから労働者協同組合を志向し実践してきました。この間様々な試行錯誤を繰り返しながら、協同の力で仕事と職場を地域の中で作り出し、15,000人を超える仲間が働き、350億円を超える仕事を担う実態を自力で作上げてきました。

この35年間の手応えは、「人間らしく働く」ことを追求する中から、「人間らしく暮らし・生きる」ことを学んだということです。そして「人間らしく働く」ことを土台に、「協同」の関係が必要不可欠であることを強く認識しました。その成果を、法制化ということを通じて社会全体に共有されるものとしたい、という思いから、約20年間この法制化運動に取り組んで参りました。

「働く」ことは、確かに報酬を得て生活を成り立たせるための営みですが、決してそれだけでは「人間らしさ」は実現しません。「働く」ことは、他者とともにお互いを活かし合い、チームワークによって仕事をなし、心地よさを手にする営みでもあります。そこには、「自分が認められ役に立つ」という肯定感と同時に、他の人たちを認める豊かさが育ちます。職場がコミュニティとなり、学び合い育ち合いながら働くことで、社会に必要とされ意味ある仕事を生み出し広げる。職場とは、人が育ち、仕事も育ち、様々な関係性を豊かにしていく、文化的な基盤ともいえます。こうした職場は、誰かが用意してくれるのではなく、そこにいる人たち自身の手によって編み出されていく、まさに協同の力で職場は豊かになっていくことを学びました。

また私たちは、創設以来「よい仕事」を理念的・実践的目標にしてきました。こうした職場から発した「仕事」は、それを受け取る人々や、地域・社会と私たちの関係のあり方をも、劇的に豊かにすることも経験しました。仕事は単に売り買いの対象ではなく、その仕事をめぐってよりよくしようという関係づくりこそが、本当のその仕事の価値ではないか、と考えるようになりました。そして、仕事もまた、関わる全ての人々によってよりよく意味あるものになると感じています。ここにも「協同の関係」の大事さがあるように思います。こうして生み出された仕事こそが、社会をよりよく、豊かに、人間性あふれるものへと育てていくものだと思います。

社会は今、様々な不安が渦巻いています。それぞれが分断され対立しあっているようにも感じます。この間の自然災害や新型コロナウイルスの感染拡大という、生命と生存の危機にあたって、改めて「命を守り合う」ことの必要性・重要性が再認識されてきました。そして「地域共生社会」や「地域循環共生圏」などの政策もまた、「協同の関係の再構築」が共通するテーマになっていると思います。人口が減少し少子高齢化する社会に直面する中で、一つひとつの地域・地方の持つ価値を再発見・再評価し、そこで働き暮らし生きる人々自身の力=自治の力を協同の力に束ね、地域を持続可能で活力あるものにしていくことは、労働者協同組合法における究極の目的であり、まさに「地方創生」の理念そのものです。

この社会には、様々な人が暮らし生きています。今日では、一人ひとりの個性は違うという前提に立って、様々な人格を認め合い活かし合う、「共生」という理念がたびたび語られるようになってきました。人は生まれながらに固有の個性と人格を持ちますが、長い人生の過程で、様々な経験し、学び、成長・発達します。労働者協同組合という法人の人格もまた、様々な人々によって活用されることで、より豊かに「人間らしさ」を追求する中で、学び、成長・発達すると信じています。

働くことをより人間的で創造的な営みに高め、全ての人々が働くことを通して豊かさと幸福感を得られ、社会全体が持続可能に発展することを念じ、その一助となる労働者協同組合法につきまして、今一度議論を深め磨き上げていただき、今国会での制定に向けて最後のご尽力を賜るよう強く要望し、私たち日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会からの発言とさせていただきます。

よろしくお願い申し上げます。

2020年03月31日
日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会
理事長 古村伸宏